

かほだより

元-5号
R1(2019).7.16

長野県伊那家畜保健衛生所

〒396-0026 伊那市西町 5764

TEL : 0265-72-2782, Fax : 0265-72-2765

E-mail : inakachiku@pref.nagano.lg.jp

URL : <http://www.pref.nagano.lg.jp/inakachiku/>

伊那諏訪家畜畜産物衛生指導協会

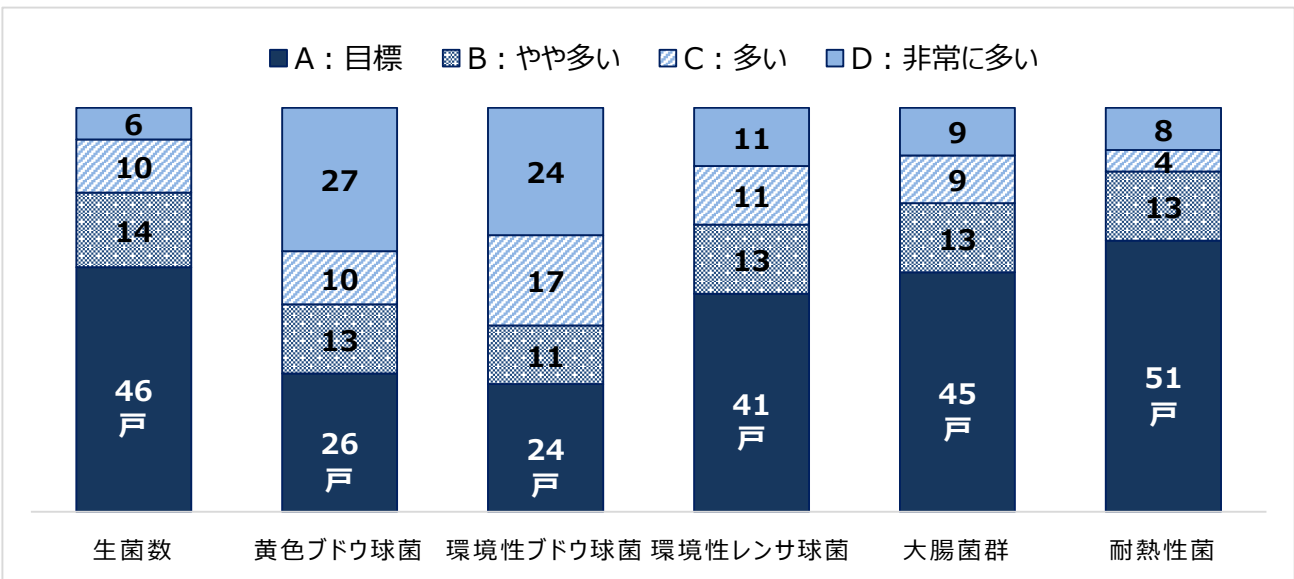
Tel&Fax : 0265-76-8086

酪農生産性向上対策事業 令和元年度第1回バルク乳スクリーニング検査の集計結果をお知らせします

検査時期：令和元年6月10日～25日

検査対象戸数：76戸(上伊那地域58戸、諏訪地域18戸)

検査項目：生菌数、黄色ブドウ球菌、無乳性レンサ球菌、環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌、大腸菌群、耐熱性菌、マイコプラズマ、牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)遺伝子検査



無乳性レンサ球菌、マイコプラズマ、牛ウイルス性下痢ウイルス(BVDV)遺伝子は全ての農場で陰性でした。

— SA対策していますか？ —

多くの農場で黄色ブドウ球菌(SA)が検出されました。ご存知のとおりSAは伝染力が強く、治療が困難です。また、潜在性乳房炎を起こすため、気づかないうちに体細胞数が増加します。

— 全国でBVDMDが発生しています —

BVDMD(牛ウイルス性下痢・粘膜病)はBVDVによる感染症で、家畜伝染病予防法に規定される届出伝染病です。

BVDVに感染しても多くは一過性の下痢や呼吸器症状を呈して回復しますが、粘膜病を発症すると致死率が高く、妊娠牛が感染した場合は胎齢により流産、異常産を起こす他、**持続感染牛(PI牛)**を娩出します。特にPI牛は粘膜病を発症するだけでなく、生涯BVDVを排出し続け**牛群の汚染源**となるため、大きな経済損失をもたらします。

近年は20以上の道府県で年間300頭以上の発生が続き(農林水産省集計)、全国的なまん延が危惧されています。本県でも平成25年に10頭、26年に3頭の発生がありました。

酪農生産性向上対策事業では平成26年度から年2回のバルク乳検査にBVDV遺伝子検査を追加しました。これまでのバルク乳検査でBVDV遺伝子検査陽性は度々あり、県下で散発的に一過性の感染が起こっていることが確認されるとともに、**PI牛の発見に至った事例があります。**

BVDVは知らずに自農場でまん延するおそれ、また、他農場へまん延させるおそれがあります。適切にワクチンを接種し、予防しましょう。

問い合わせ先：伊那家畜保健衛生所 保健衛生課 [Tel:0265-72-2782](tel:0265-72-2782)

